

## 第4回 EAA 沖縄研究会

# 黄インイク監督 『緑の牢獄』 上映会

### 【日時】

2021年10月5日（火）13:00～16:00

### 【場所】

東京大学駒場キャンパス 101号館 11号室

※感染防止対策のため、関係者限定とさせていただきます。

### 【プログラム】

13:00-14:45 映画上映

14:50-16:00 黄インイク監督による講演およびディスカッション

### ＜黄インイク監督プロフィール＞

1988年生まれ。台湾・台東市出身。沖縄在住。台湾・政治大学テレビ放送学科卒業、東京造形大学大学院映画専攻修了。

2013年より植民地時代の台湾から八重山諸島に移住した“越境者”たちとその現在を横断的に描く「狂山之海」シリーズを企画。第一作『海の彼方』（2016）は日本と台湾で一般公開し、大阪アジア映画祭、台北映画祭ほか、新藤兼人賞「プロデューサー賞」受賞。

シリーズ第二作となる『緑の牢獄』（2021）は、監督が七年間の歳月を費やした渾身の一作。本作は企画段階から注目され、ベルリン国際映画祭、スイス・ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭などに入選。



### ＜作品イントロダクション＞

熱帯林に囲まれ「秘境」と呼ばれる西表島。島には人知れず眠る巨大な「炭鉱」があった。廃坑を無秩序に覆う緑、そこを住处とするイノシシの群れ、そして廃坑を見つめる90歳の老女——橋間良子。10歳で父に台湾から連れられ、人生のほとんどをこの島で過ごした彼女は、たった一人で誰もいない家を守る。

眠れない夜には、島を出て音信不通となった子供、炭鉱の暗い過去、父への問いかけ——忘れてくても捨てられない記憶たちが彼女を襲う。希望、怒り、不安、そして後悔——彼女が人生最期に放つ静かな輝きが、この一作に凝縮される。



東アジア藝文書院